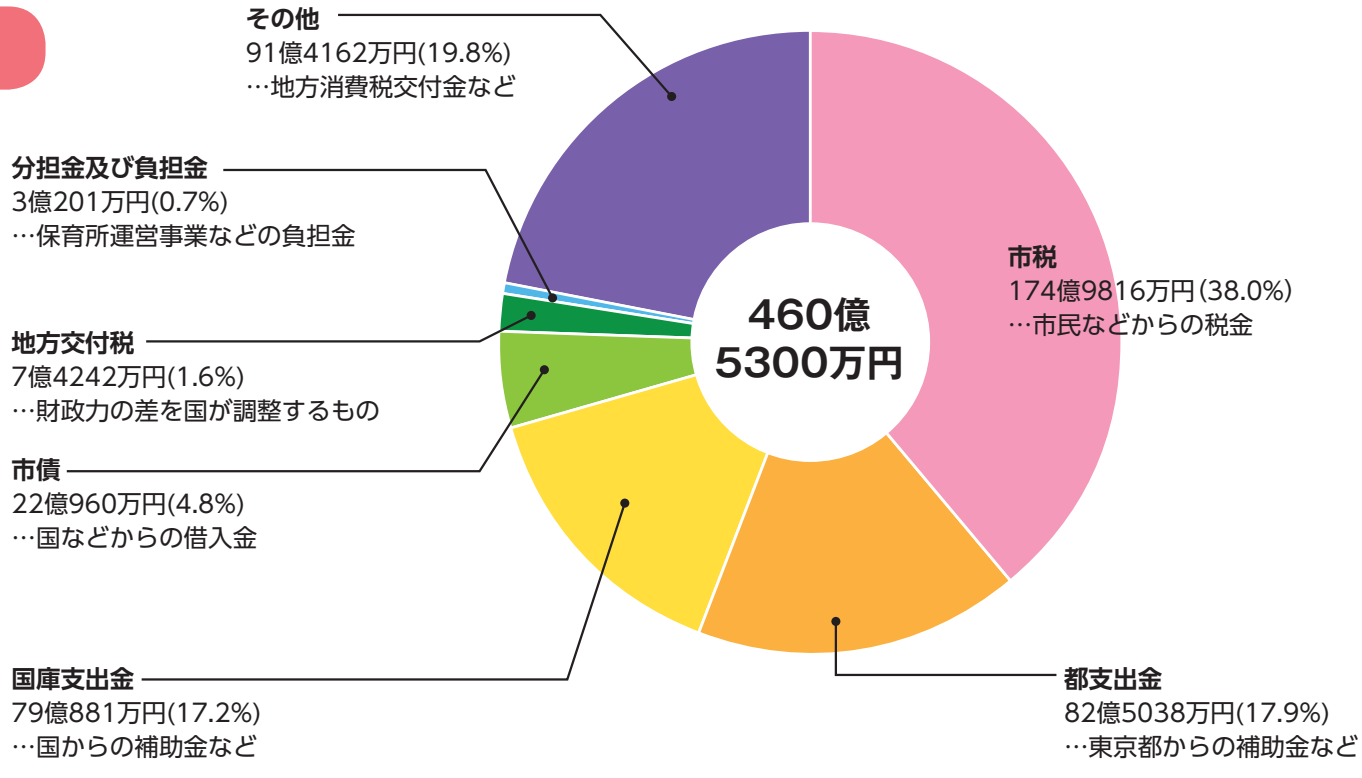
令和7年度　一般会計 460億5300万円

歳入



令和７年度　当初予算に対する討論

賛成　中島議員　稲志会

令和７年度予算を審査するに当たり、新たに取り組む事業や令和６年度からレベルアップされた事業に注目するとともに、折り返しを迎えた第五次稲城市長期総合計画に基づき、さまざまなインフラ整備事業が本格的な実施フェーズにあり、現在まさに取り組みが推進されている状況であることから、その内容についても確認した。代表質問や予算特別委員会での質疑を通じて提案した内容に適切に取り組んでいただくこと、将来にわたって持続可能な世代循環型のまち稲城が実現できるよう、着実に事業が執行されることを強く期待し、賛成する。

賛成　渡辺議員　新政会

令和７年度一般会計予算は、第五次稲城市長期総合計画の５年目に当たり、近年の物価上昇などの動向や社会情勢の変化を的確に捉え、多様化するニーズにおける課題に対して機動的に取り組んでいく決意が示された予算である。市の財政について、引き続き、業務改善や創意工夫などにより事務事業の効率化を進め、経費の縮減を図るとともに、更なる特定財源の確保に努めながら、将来を見据えて健全な財政を維持していくことを求める。土地区画整理事業特別会計予算についても、第五次稲城市長期総合計画に基づき、着実な事業進捗を図る予算となっており、賛成する。

賛成　湯谷議員　公明党

第五次稲城市長期総合計画基本構想に掲げる将来都市像の実現を目指し、市民が直面している物価上昇などの動向を考慮し、さまざまなニーズに対して機動的に取り組む予算であること、更には公明党が主張してきた子育て世代を切れ目なく支援する予算であること、発生の危機が高まる首都直下型地震などや近年頻発している豪雨災害などの脅威から市民の命や暮らしを守ることを最優先に、防災・減災対策に計画的に取り組む予算であることから、公明党は本予算案を高く評価し、賛成する。

反対　山岸議員　日本共産党

市の令和７年度一般会計予算は、歳入歳出ともに460億円と、昨年度予算から約40億円の増となった。過去10年間においても最大の伸び率であり、過去最大の予算規模となっている。これだけの予算を使って市民の暮らしと福祉の向上、子育て支援や生活支援を拡充させていく立場で審査に臨んだ。今年度予算には、日本共産党稲城市議団として求めてきた前進面としての事業も盛り込まれているが、予算総体として見れば、開発中心の予算であり、市民の暮らしや子育て、福祉の増進という地方自治体本来の役割を果たすには不十分であると考え、反対する。

賛成　榎本議員　改革未来の会

本予算は、市の持続可能な発展と市民福祉の向上を目的とし、多様な施策が盛り込まれている。特に子育て支援の拡充や福祉の向上、デジタル化の推進、公共交通への新たな取り組みといった重要な課題に対し、的確な対応が図られていることを評価する。引き続き、多様化する市民ニーズを的確に捉え、各種施策の取り組みを着実に進め、持続可能で健全な行財政運営に努めていただくことを要望し、賛成する。

賛成　武田議員　無所属

本予算は、物価上昇や社会情勢の変化に対応しながら、第五次稲城市長期総合計画基本構想の実現に向けた施策を推進するために編成されたものと考えている。特に市民の安全・安心の確保を最優先課題とし、防災・減災対策の強化に重点を置いている点を評価する。多少の課題があるが、限られた財源の中で、市民の安心・安全を確保し、防災・減災対策の充実、更にはＧＩＧＡスクール構想の適切な推進を図るために必要不可欠なものと考える。賑わいの創出による観光のまちづくりや、交通環境の向上、稲城市庁舎の災害対策としての受変電設備の改修工事など、本当に多くの重要な施策が盛り込まれているということから、全体の予算を通し、否定するものではないと考え、賛成する。

賛成　梶浦議員　無所属

持続可能な行財政制度へ転換していくことが求められている社会情勢に鑑（かんが）み、令和７年度の予算について、子供から高齢者まで市民の暮らし・生活を市がどのように支え、１年後どのように向上・改善できるのか、特に子育て支援や教育・福祉・介護・医療の施策を中心に総括質疑や福祉文教分科会で29問の質疑と他の議員の質疑を通じ、予算の内容を確認した。全体として、市民の生活の改善と向上が図られる予算であると確認したことから令和７年度予算に賛成する。